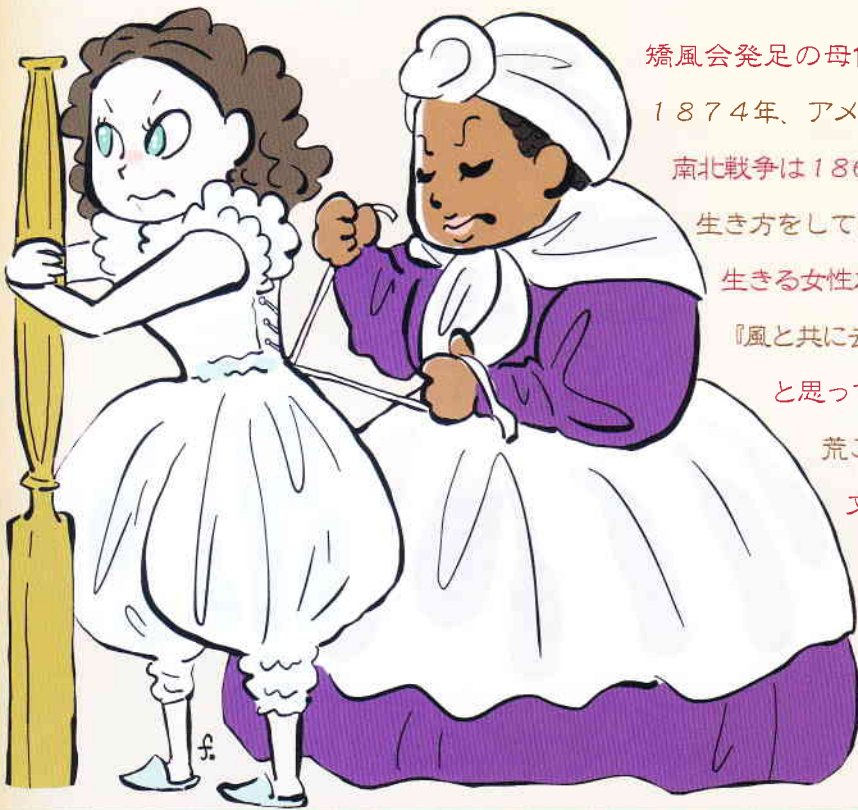


「風と共に去りぬ」と 19世紀の女たち

2019年

12月6日(金) 午後1時~3時半

@矯風会館1Fホール (裏面に地図) 入場無料



矯風会発足の母体となった米国女性禁酒同盟(WCTU)は、1874年、アメリカ・オハイオ州で誕生。

南北戦争は1861~1865年。この時代に女性たちはどんな生き方をしていたのか、荒先生の講演によって、21世紀に生きる女性たちの活躍を再評価する機会になると思います。

『風と共に去りぬ』を、「アメリカ南部の白人の物語だよ」と思っ

て読まず嫌いの方がいるのは残念です。

荒このみ先生が訳しなおした2015年発行の岩波

文庫は、各巻末の訳者解説が充実しています。

南北戦争時代のアメリカの様子や、スカーレットの父の故郷であるアイルランド移民の背景など、作品の世界が理解しやすくなる内容です。

お話：荒 このみさん

(東京外国語大学名誉教授 アメリカ文学・文化研究者) 裏面にプロフィール詳細

ミニコンサート：秋山 浩子 さん(ピアノ)、西 宏隆 さん(テノール)

風と共に去りぬに登場するアイルランド民謡、映画音楽「タラのテーマ」など

「折りと賛美のとき」 午後1時~1時半 飯田瑞穂牧師(矯風会理事長)

どなたでも参加いただける短い礼拝です。

女性の人権活動のため、席上献金のご協力をお願いいたします。

講師紹介 荒このみ (あらこのみ)



1946年埼玉県生まれ。お茶の水女子大学文教育学部卒業。東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了。中央大学・津田塾大学・東京外国語大学教授、立命館大学客員教授を経て、現在、東京外国語大学名誉教授。専攻はアメリカ文学・文化。博士（文学）。

主要著書『黒人のアメリカ』（ちくま新書）、『マルコムX——人権への戦い』（岩波新書）、『歌姫あるいは闘士 ジョセフィン・ベイカー』（講談社）。主要翻訳書マーガレット・ミッチェル著『風と共に去りぬ』全6巻（岩波文庫）、レスリー・M・シルコウ著『儀式』（講談社）など。

ピアノ 秋山 浩子

上野学園大学卒業。藤田美奈子、藤原公子の両氏に師事。在学中より2015年まで東京交響楽団専属東響コーラスに在籍。（株音楽事務所サウンド・ギャラリーを経て2017年より東京交響楽団クラシックスペース★100勤務。

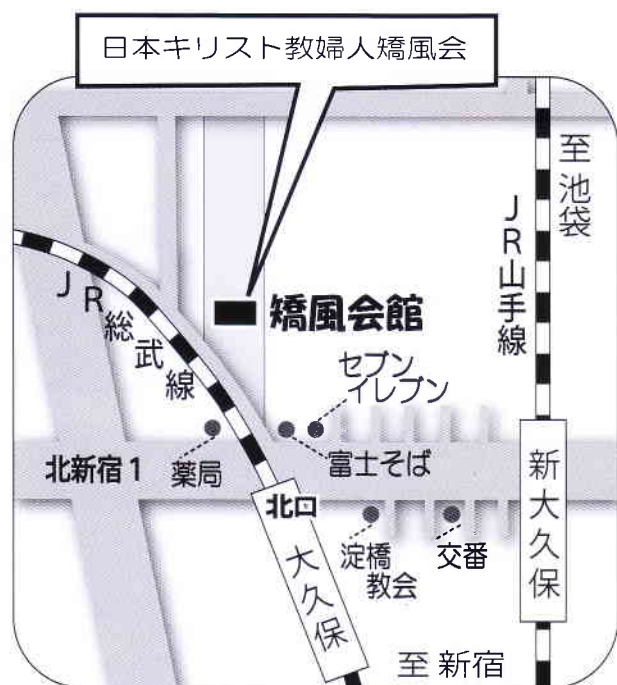
テノール 西 宏隆

埼玉県出身。大宮高校音楽部、埼玉大学管弦楽団にて音楽に親しみ、その後、稲田浩、西原匡紀、宝福英樹に声楽を師事。二期会オペラスタジオ40期予科、高文二クラスにて学ぶ。東京交響楽団専属東響コーラス団員。コンサートの企画・運営Project-N及び不定期『なんちゃってコンサート』主宰。

公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会

1886年（明治19年）に創立した、日本で一番歴史の長い女性団体です。キリスト教精神に基づいて、女性の視点に立ち、すべての人々の人権と平和が守られるよう、困難な状況にある人々特に女性と子どもへの支援につとめ、社会全般の福祉の増進に寄与することをめざしています。

具体的には、武力によらない平和、脱原発、女性・子どもへの性暴力問題、アディクション（依存症）問題などをテーマとした学習会・講演会を多く開催しています。女性のための施設としてシェルター（所在地非公表）運営も行っています。



JR 大久保駅北口下車 徒歩2分。

改札を出たら道路（大久保通り）を渡る。薬局と富士そばの間の細い道に入る。頭の上にはJRのガードあり。約20メートル先の右側のクリーム色4階建ての建物が矯風会館。正面ドアからお入りください。JR 新大久保駅からは徒歩5分。

東京都新宿区百人町 2-23-5

※会場の都合上、ぬれた傘は入口にてお預かりいたします。ご了承ください。